

第5号・第6号議案

(第23期)

平成23年度

事業計画書案

収支予算書案

〔自 平成23年4月1日〕
〔至 平成24年3月31日〕

社団法人日本広告写真家協会

東京都港区白金台3丁目15番1号 白金台シティハウス2F

平成23年度(第23期)事業計画(案)

1. 情勢認識

1. 社団法人日本広告写真家協会(以下、APAという。)を取り巻く環境

①長期にわたり日本経済が停滞している状況の中で発生した未曾有の東北地方太平洋沖地震により経済・社会への影響が懸念され、産業の復興には長期間を要するものと想定されることから今後の環境は、ますます厳しさが増してくるものと考えられる。

また、経済の停滞による広告・写真業界への影響とデジタル機材環境やそれに伴うメディアの多様化により、APAを取り巻く環境は、厳しい時代に直面している。

②APAの50周年記念事業は、平成22年度をもって終了したが、主要事業であるアワード事業は、平成23年度で40回の節目を迎えるに至り、一方、学校写真教育推進事業「美術授業にカメラ」は、論理的感性を育成していく観点から多くの教育関係者の賛同を得ている。

しかし、事業については、環境の急激な変化を考えると従来の延長線上では立ちいかない状況を呈しており、事業そのものの在り方の見直しや規模の縮小も考慮し、創意工夫していくことが必要となる。

2. 基本方針及び重視事項

1. 基本方針

APAは、APAアワード及び学校写真教育推進事業を主要公益事業と位置付け、その充実に努めるとともに、APA本部を写真・映像文化の発信基地として位置付けることを目標にしているが、環境の急激な変化に対応して事業の在り方を見直し、事業活動に対して創意工夫していくことに力点を置いて会務を運営する。

また、平成23年度は、APAを取り巻く社会・経済環境を把握し、将来的な展望を確立してAPAの体質を強化していくため業務の合理化、効率化を推進する。

2. 重視事項

①主要事業

(ア)APAアワード事業は、写真・映像文化の向上を図り、現在の世相や文化を社会的財産として蓄積していくことを主眼に推進する。

また、会員を含め新人発掘と併せ広く一般から作品応募の獲得に努め、公募展としての役割を普及して行くとともに写真表現の可能性を追求する。

この成果として、『年鑑日本の広告写真2012』を編纂する。

(イ)学校写真教育推進事業は、「美術授業にカメラ」実践教育を継続展開するが、教育者への研修実施により学校教育における「美術授業にカメラ」を定着できるよう教育現場への啓蒙を促進する。

この成果として、第三回『全国学校図工・美術写真公募展』開催に結びつける。

(ウ)APA本部を写真・映像文化の情報発信基地として機能整備に着手し、写真展及びセミナー会場としての充実を図る。

(エ)支部活動を会員主体から地域社会への写真・映像文化を発信していく場としての充実を図る。

②公益法人移行への取り組み

(ア)平成25年11月末までの公益法人移行期間にあって、APAの目指す方向を明確にし、平成23年度中に新法人に向けた申請を行うこととする。

平成20年度通常総会における公益法人認定申請受け合意に基づき作業を進めているが、社会・経済環境の急激な変化に直面している現在、事業等多くのことに関して見直していくことも視野に入れ

る必要がある。

(イ)平成23年度を申請・認定の年度と位置付け、「一般社団法人・一般財団法人に関する法律」及び「公益社団法人・公益財団法人の認定等に関する法律」に基づき定款及び諸規程の改定整備、申請書類の作成等を行う。

また、「一般社団法人・一般財団法人に関する法律」に基づき、会計基準の変更が必要となることからAPAにおいても平成23年度の予算より、新会計基準に従った対応を行なう。

③業務の公正、効率化

(ア)社会・経済環境の変化に対応した予算管理を進め、資金の重点運用、管理経費の節約等により効率化を図り、運営にあたっては、公正の原則に則り実行する。

3. 事業

1. 調査・研究に関する事業

①写真業界の動向調査及び資料の収集を行う。

2. APAアワード及び展覧会に関する事業

①「APAアワード2012」:第40回APA公募展の開催

(ア)「APAアワード2012」を3月に東京及び4月に関西(大阪予定)の2カ所にて開催を予定する。また、表彰式を東京での開催日に行う。

(イ)広告作品の公募は、平成22年1月1日～平成23年8月31日の間に社会に流通した広告作品を対象に広告制作関係企業及び制作者に幅広く告知して、募集する。

今年度は、広告作品応募者の拡大と応募料の負担を軽減するため応募料を無料とする。

写真作品の公募は、「心(KOKORO)」をテーマに、HPに掲載し広く不特定多数の一般市民から斬新な作品を募集する。

また、平成23年度で5回目となる「公募から就職までを考える:APAアワード記念講演」等の場を活用し、応募者を募る。

(ウ)作品の選考にあたっては、新しい広告作品を暗示するような作品を選出することを目指す。

②『年鑑日本の広告写真2012』の編纂

「APAアワード2012」の優秀作品を収録した『年鑑日本の広告写真2012』を編纂、出版し、国内外に日本の写真・映像文化を普及する。

③「APAアワード2011」:国際展等の開催

韓国広告写真家協会の要請による第9回日中韓広告写真国際交流展への参加を予定する。

④「CP+」併設写真展等の開催

アジア最大のカメラ映像機器展覧会に併設の写真展開催要請がある場合には、参加を予定する。

⑤平成23年度新入会員展の開催

今年度入会の新入会員による写真展「写真家のプロフィール」を8月3日～13日の期間、本部ギャラリーにて開催する。

⑥東日本大震災復興支援の企画

東日本大震災の復興に向けて「一万人の笑顔」を制作し、被災地等へ発信する。

3. 学校写真教育推進に関する事業

①「美術授業にカメラ」実践教育支援

全国小中学校から要請を受けて初等中等教育の図工・美術の科目に、写真映像を用いた授業を普及・

推進し、学習指導法をサポートするとともに、児童・生徒の感性の育成に寄与する。

また、教育者に対する写真映像を用いた授業の指導法についての研修を実施し、写真・映像教育の促進を図る。

②第三回『全国学校図工・美術写真公募展』の開催

3月に東京及び4月に関西(大阪予定)において全国造形教育連盟と連携し、「美術授業にカメラ」の教育成果の発表の場である第三回「全国学校図工・美術写真公募展」を開催する。

尚、作品の選考にあたっては、写真に造詣の深い審査員を選出する。

4. APA本部施設に関する事業

APA本部会議室(ギャラリー)が会員及び広告・写真関係者に有益な活用が図られるよう写真展、セミナーを開催する。

5. 研修・セミナーに関する事業

APA本部及び支部において研修会及びセミナーを開催する。

6. 知的所有権の確立に関する事業

①著作権の研究

社団法人日本写真著作権協会に加盟し、現在及び将来の著作権問題を研究する。

併せて、著作権に関する法令、判例集を定期更新する。

②著作権相談室の運営

会員の日常の仕事上の著作権問題等に対応し、顧問弁護士と連携して対処する。

訴訟に至った場合は、一般社団法人日本写真著作権協会と連携してこれにあたり、その事例を整理して会員及び社会に向けて情報提供する。

7. 出版・情報に関する事業

①「APANews・瞬」の発行

「APANews・瞬」は、広報誌として、広告写真文化活動、広告写真家及び機材の特集記事、APA主要行事を中心に掲載し、発行する。

併せて、Web配信も促進し、経費削減に努める。

②APAアワード記念講演の開催

APAアワード2012への応募促進のため、第1線にて活躍中の広告・写真クリエイターを招聘し、写真学生を対象にAPAアワードキャンペーン「公募から就職まで考える」を7月東京、大阪において実施する。

③ホームページの運営

(ア)APAの活動、広告写真文化の最新情報を掲載し、不特定多数のニーズに応える。

(イ)支部ページは、各支部にてリニューアルを実施し、情報の更新を容易にする。

(ウ)ページヒット数を毎月集計、評価し、UP記事の検証を行うとともにバナー広告企業に通知する。

8. 支部地区事業

①支部大会時懇親会、名刺交換会等

各支部において支部大会時懇親会、名刺交換会等を開催する。

名刺交換会を含む各支部の集会開催にあたっては、セミナー等を同時開催することにより不特定多数に情報の発信を行う。

②支部展

各支部において支部展を開催する。

③写真表現研究セミナーの開催

地域の写真家、写真愛好者の要望に応え、写真表現研究セミナーを東北、九州地区において開催を予定する。

4. 総務管理

組織の充実並びに業務の効率化を図り、今後も健全運営のための施策を推進する。

1. 会議等の開催

①総会

6月に通常総会を開催し、所定議案の承認を受ける。

②理事会、幹部会等

理事会を年3～4回、幹部会及び業務役員会を年8～10回開催して、総会から付託された業務を円滑に執行する。

③審議委員会

審議委員会を開催し、法人改革、組織、予算に係る課題を審議して、理事会に答申する。

④支部長会

年2回、開催を予定する。

2. 会員との意志の疎通、地位向上施策等

①会員名簿の発行

会員名簿は、掲載内容の刷新を図り6月末に発行する。

②会員への情報提供

会議及びAPAの主要な行事については、適時に結果報告書、ニュースにより正会員に配信する。また、平成22年度より会員への送付書類のメール配信をスタートさせており、紙媒体の経費削減を促進する。

③参画意識の助長

各部の委員としての参加を推奨するとともにAPA主要行事への会員多数の参加が得られるよう開催要領を工夫する。

3. 内外関係機関との交流に関する事業

①関係団体との交流

広告、写真、著作権関係団体に入会し、相互の情報交換、協同活動を緊密に行う。

②法人賛助会員及び関係企業との交流

(ア)法人賛助会員との交流として事業説明会、意見交換会を年1～2回開催するとともに、協力企業、団体を開拓し、交流基盤を拡充する。

(イ)広告・写真関連の団体と会員との交流の場を設定し、情報交換の機会を提供する。

このため、6月に総会時懇親会、1月に賀詞交歓会を開催する。

また、3月の「APAアワード2012」表彰式時懇親会の場を活用する。

4. 渉外及び広報活動

①APA主要行事の実施に当たっては、積極的にマスコミリリースを行う。

- ②各団体、各企業(特に法人賛助会員)の主要イベントの場にAPA広報誌を配布し、APAへの関心度を高める。
- ③APAウェブ、出版物、イベント取材案内を通じて、APA行事の積極広報を展開する。

5. 表彰等

- ①APAの発展等への貢献、功労度に応じ、個人及び団体を対象として表彰する。
- ②叙勲・褒章推薦団体として、候補者を順次、経済産業省に推薦する。
- ③公募展等APA主要行事の表彰は、事業部の計画による。

6. 業務管理

- ①各事業部門、管理部門毎の業務目標を設定し、年度業務予定表を策定して、各種業務を総合的に管理する。
- ②業務改善提案を奨励して、業務の質的向上を図り、次年度APA事業、人事等に反映する。
- ③中間及び年度末監査にあたっては、業務を計数的に分析して評価を受けるとともに、事後の業務に反映する。

5. 財務管理

1. 財政(平成23年度予算管理及び平成24年度予算編成等)

①平成23年度予算管理

(ア) 予算執行にあたっては収支管理を確実にし、重点事業の目的達成と経費の節用に留意する。
特に、月次決算の精査により収支に見合った予算執行に努める。

(イ) 期中において事業が拡大、縮小する場合は、理事会の承認を受けて予算を補正し、予算準拠制度を維持する。

②平成24年度予算編成

11月、平成24年度事業大綱を策定して収入源を確保しつつ、次年度事業計画に則り予算編成を行う。

2. 経理

①帳票類の整備

平成23年度より公益法人移行に伴い、平成20年会計基準にて実施する。

②出納管理

出納は、会計規則に基づき、適正に行う。特に資金管理を確実にするため、仮払い精算の半期締めのお知らせ等を確実にし、行う。

3. 財産管理

財産台帳、貯蔵品台帳、物品管理簿により、保有資産管理を行う。

会 員 数： 1,185 名
(平成 23 年 4 月 1 日現在)
【正 会 員： 949 名】
【特別会員： 29 名】
【賛助会員： 207 名・社】
(法人 59 社・個人 148 名)

創 立： 1958 年 6 月 27 日
社団法人設立： 1989 年 12 月 4 日

平成23年度 収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

勘定科目	予算額	備考
【事業活動収支の部】		
(1) 事業活動収入		
1) 特定資産運用収入	8,500	
特定資産運用収入	8,500	
2) 入会金収入	3,100,000	
正会員入会金	2,750,000	55名×@50,000
法人賛助会員入会金	250,000	5社×@50,000
会友入会金	100,000	10名×@10,000
3) 会費収入	50,020,000	
正会員会費収入	37,400,000	935名×@40,000
法人賛助会員会費収入	11,200,000	58社+新規5社
準会員会費収入	12,000	1名×@12,000
特別会友受取会費	340,000	68名×@5,000
会友会費収入	1,068,000	79名×@12,000+新規10名
4) 事業収入	19,699,000	
広告収入	12,212,000	年鑑、学校図録、APA ニュース・瞬、会員名簿
入場料収入	3,092,000	東京都写真美術館入場料、支部セミナー他
公募料収入	2,500,000	APA アワード公募料(写真作品部門)
書籍売上収入	875,000	年鑑日本の広告写真、学校図録
その他事業収入	1,020,000	CP+、学校写真教育推進事業講師料、東日本大震災復興支援、他
5) 負担金収入	5,963,200	
会費収入	4,056,000	APA アワード懇親会会費、支部大会等会費
展示負担金	1,907,200	2011新入会員展、CP+、各支部展
6) 雑収入	805,300	
受取利息	1,300	
駐車場賃借収益	504,000	
雑収益	300,000	
事業活動収入計	79,596,000	
(2) 事業活動支出		
1) 事業費支出	26,161,300	
臨時雇賃金支出	485,000	APA アワード事業、学校写真教育推進事業、展覧会事業他アルバイト料
会議費支出	4,044,250	APA アワード事業、出版情報事業、支部展覧会他打合会議費
交際費支出	10,000	
旅費交通費支出	1,436,600	学校写真教育推進事業実践教育交通費、東日本大震災復興支援他
車両費支出	170,000	学校写真教育推進事業実践教育時車両費他
通信運搬費支出	1,233,400	APA アワード事業、APA ニュース・瞬、学校写真教育推進事業他通信運搬費
消耗品費支出	244,100	APA アワード事業、学校写真教育推進事業、支部消耗品費
修繕費支出	30,000	学校写真教育推進事業カメラ修繕費
資料・図書費支出	30,000	知的所有権の確立事業資料費
印刷製本支出	6,691,900	年鑑日本の広告写真2012、「美術授業にカメラ!3」、APA ニュース・瞬他
広告宣伝支出	30,000	学校写真教育推進事業 広告費他
表彰支出	1,140,000	APA アワード事業賞金、表彰品、学校写真教育推進事業表彰品

勘定科目	予算額	備考
賃借料支出	21,000	中部支部集会時モニターリース料
諸謝金支出	730,000	APA アワード事業審査料、学校写真教育推進事業審査料他
展示費支出	7,169,200	APA アワード事業、学校写真教育推進事業、2011新入会員展览展示費
支払手数料支出	2,662,100	APA ニュース・瞬デザイン料、学校写真教育推進事業図録デザイン料他
雑費支出	33,750	コピー費他
2) 管理費支出	50,771,650	
給料手当支出	20,036,000	本部職員5名、関西支部職員1名
法定福利支出	2,458,810	事業主負担分
厚生年金保険料	1,693,798	
文芸美術国民健康保険	564,600	
雇用保険料	200,412	
臨時雇賃金支出	312,000	
発送	192,000	発送アルバイト料
データ入力、校正他	120,000	データ入力、校正アルバイト料
福利厚生費支出	150,000	健康診断、福利厚生倶楽部会費他
研修費支出	50,000	職員研修
会議費支出	2,400,000	総会、臨時総会、入会説明会、法人賛助事業説明会、三団体他
交際費支出	380,000	慶弔費、交流会参加費
旅費交通費支出	4,905,000	
お車代	380,000	理事会4回、監査2回お車代
出張旅費	3,325,000	業務役員会、理事会、監査、支部長会、審議委員会
職員通勤費	1,000,000	本部職員通勤定期代5名、関西支部職員通勤費1名
業務交通費	200,000	市内交通費
通信運搬費支出	3,570,000	
NET 通信費	500,000	サーバー管理費、プロバイダー回線使用料他
郵送・運搬費	2,400,000	
電話料	670,000	本部固定電話料、5支部電話料
消耗什器備品支出	460,000	本部プリンター、PC 他予定
消耗品費支出	1,300,000	本部・関西支部コピーチャージ料他
修繕費支出	300,000	本部換気扇修繕他予定
資料・図書費支出	30,000	
印刷製本支出	3,800,000	会員名簿印刷、会員証、総会+臨時総会資料、封筒他
広告宣伝支出	160,000	他団体広告掲載
表彰支出	250,000	総会時証書ホルダー、証書用紙、モグラ像製作費
光熱水料費支出	700,000	本部・関西支部
賃借料支出	880,000	本部 PC、本部・関西支部コピー機他
保険料支出	50,000	本部・関西支部火災保険料/1年契約
租税公課	1,210,000	固定資産税、消費税、都民税、償却資産税
会費支出	1,612,000	東京観光財団、AC ジャパン、PSJ、著作権協会、公益法人協会他
支払手数料支出	5,557,840	本部・関西支部マンション管理費、顧問会計士、顧問弁護士他
雑費支出	200,000	本部廃棄料他
事業活動支出計	76,932,950	
事業活動収支差額	2,663,050	
【投資活動収支の部】		
(1) 投資活動収入	4,543,405	
90地区展準備預金取崩収入	1,311,400	
退職準備預金取崩収入	1,654,775	

勘定科目	予算額	備考
APA 公募展準備預金取崩収入	1,000,000	
本部施設整備準備預金取崩収入	577,230	
(2) 投資活動支出	2,849,000	
次期記念事業準備預金支出	100,000	
APA 公募展準備預金支出	1,000,000	
本部大規模修繕準備預金支出	1,000,000	
APA ポータルサイト構築準備預金支出	500,000	
退職準備預金支出	249,000	
投資活動収支差額	1,694,405	
【財務活動収支の部】		
財務活動収入	0	
財務活動支出	0	
財務活動収支差額	0	
予備費支出	1,000,000	
当期収支差額	3,357,455	
前期繰越収支差額	11,308,682	
次期繰越収支差額	14,666,137	

(註) 借入金限度額は10,000,000円とする(短期)。

※平成23年度より「公益法人会計基準の運用指針」に例示されている科目名への変更を行う方針です。

これにより従来の科目名と当収支予算書における科目名は異なっております。従って、前年度予算額は表示せず参考資料として添付しております。

平成22年度 収支予算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

一般会計

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	[250,000]	[650,000]	[△ 400,000]	
特定資産利息収入	(250,000)	(650,000)	(△ 400,000)	
入会金収入	[4,450,000]	[2,350,000]	[2,100,000]	
正会員入会金	(4,150,000)	(2,000,000)	(2,150,000)	83名
法人賛助会員入会金	(200,000)	(200,000)	(0)	4社
会友入会金	(100,000)	(150,000)	(△ 50,000)	10名
会費収入	[49,636,000]	[48,467,000]	[1,169,000]	
正会員会費	(37,280,000)	(36,040,000)	(1,240,000)	932名 休会6名
法人賛助会員会費	(10,900,000)	(11,100,000)	(△ 200,000)	218口
会友会費	(1,104,000)	(1,020,000)	(84,000)	92名
準会員会費	(12,000)	(12,000)	(0)	1名
特別会友会費	(335,000)	(290,000)	(45,000)	67名
学生会員会費	(5,000)	(5,000)	(0)	1名
負担金収入	[9,026,200]	[9,442,000]	[△ 415,800]	
会員負担金	(5,026,200)	(5,792,000)	(△ 765,800)	
総会懇親会	600,000	600,000	0	懇親会のみ@5千円×120名
賀詞交歓会	500,000	0	500,000	@5千円×100名/招待30名
北海道支部大会懇親会	180,000	175,000	5,000	
北海道支部展負担金	161,000	175,000	△ 14,000	
東北支部大会懇親会	368,000	420,000	△ 52,000	
東北支部名刺交換会	0	100,000	△ 100,000	
中部支部大会懇親会	0	496,000	△ 496,000	
中部支部展負担金	400,000	400,000	0	
関西支部大会懇親会	378,000	318,000	60,000	
関西支部名刺交換会	438,000	438,000	0	
関西支部展負担金	623,200	400,000	223,200	
九州支部大会懇親会	368,000	496,000	△ 128,000	
九州支部名刺交換会	198,000	200,000	△ 2,000	
九州支部展負担金	340,000	0	340,000	
賛助会員情報通信負担金	160,000	600,000	△ 440,000	
公募展 懇親会	220,000	220,000	0	
対外証明制作負担金	50,000	80,000	△ 30,000	
写真表現研究セミナー	42,000	110,000	△ 68,000	東北支部
デジタルセミナー	0	135,000	△ 135,000	
20周年記念事業	0	429,000	△ 429,000	
協賛企業負担金	(4,000,000)	(3,650,000)	(350,000)	
学校写真教育推進	4,000,000	3,150,000	850,000	
A P A アワード国際展	0	500,000	△ 500,000	
事業収入	[16,192,000]	[20,446,000]	[△ 4,254,000]	
広告費収入	(9,170,000)	(11,650,000)	(△ 2,480,000)	
A P A ニュース・瞬	1,800,000	2,000,000	△ 200,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
会 員 名 簿	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
年鑑日本の広告写真	5,400,000	5,500,000	△ 100,000	
バナー 広告料	50,000	300,000	△ 250,000	
関西支部展図録	420,000	350,000	70,000	
20周年記念事業	500,000	2,000,000	△ 1,500,000	
参 加 料 収 入	(1,458,000)	(2,236,000)	(△ 778,000)	
北海道支部展	50,000	50,000	0	
北海道支部大会懇親会	0	70,000	△ 70,000	
東北支部名刺交換会	0	50,000	△ 50,000	
関西支部名刺交換会	100,000	90,000	10,000	
中部支部大会懇親会	0	48,000	△ 48,000	
九州支部大会懇親会	32,000	48,000	△ 16,000	
九州支部名刺交換会	12,000	100,000	△ 88,000	
公募展懇親会	200,000	200,000	0	
写真表現研究セミナー	64,000	130,000	△ 66,000	東北支部
デジタルセミナー	0	450,000	△ 450,000	
公募展入場料	1,000,000	1,000,000	0	
公 募 料 収 入	(4,700,000)	(6,000,000)	(△ 1,300,000)	
広告作品公募料	1,800,000	3,000,000	△ 1,200,000	
写真作品公募料	2,900,000	3,000,000	△ 100,000	
作品図録売上収入	(864,000)	(560,000)	(304,000)	
年鑑日本の広告写真	560,000	560,000	0	@8千円×70冊
20周年記念事業写真集	304,000	0	304,000	@3,040円×100冊
補 助 金 収 入	[0]	[1,000,000]	[△ 1,000,000]	
公的機関援助負担金	(0)	(1,000,000)	(△ 1,000,000)	
雑 収 入	[665,000]	[580,000]	[85,000]	
雑 収 入	(650,000)	(500,000)	(150,000)	駐車場賃貸料含む
受取利息	(15,000)	(80,000)	(△ 65,000)	
事業活動収入計	80,219,200	82,935,000	△ 2,715,800	
2. 事業活動支出				
事 業 費	[64,178,200]	[69,696,000]	[△ 5,517,800]	
調 査 ・ 研 究	(130,000)	(200,000)	(△ 70,000)	
調 査 費	30,000	180,000	△ 150,000	
資料収集整備費	100,000	20,000	80,000	
研修会・セミナー	(106,000)	(891,000)	(△ 785,000)	
デジタルセミナー	0	651,000	△ 651,000	
写真表現研究セミナー	106,000	240,000	△ 134,000	東北支部
学校写真教育推進	(4,760,000)	(4,650,000)	(110,000)	
知的所有権確立	(485,000)	(289,000)	(196,000)	
知的所有権の研究	65,000	65,000	0	
著作権相談室の開催	164,000	164,000	0	
著作権レポート	60,000	60,000	0	
知的所有権の調査	196,000	0	196,000	
展覧会等の開催	(2,248,250)	(1,975,000)	(273,250)	
APA 会員展	0	600,000	△ 600,000	科目名変更：APA 企画展へ
APA 企画展	576,050	0	576,050	科目名変更：APA 会員展より
北海道支部展	161,000	225,000	△ 64,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
中 部 支 部 展	400,000	400,000	0	
関 西 支 部 展	839,200	750,000	89,200	
九 州 支 部 展	272,000	0	272,000	
A P A アワード事業	(12,835,000)	(15,980,000)	(△ 3,145,000)	APA アワード国際展・国内展
内外関係・交流	(4,318,950)	(5,578,000)	(△ 1,259,050)	
関係機関への協力	700,000	400,000	300,000	AC、東京観光財団他 3団体
内外関係機関との交流	1,478,850	1,800,000	△ 321,150	総会時懇親会、賀詞交歓会他
賛助・協賛関係機関の拡大	240,000	300,000	△ 60,000	
東北支部名刺交換会	0	150,000	△ 150,000	
関西支部名刺交換会	430,000	520,000	△ 90,000	
九州支部名刺交換会	167,100	300,000	△ 132,900	
北海道支部大会懇親会	180,000	245,000	△ 65,000	
東北支部大会懇親会	368,000	420,000	△ 52,000	
中部支部大会懇親会	0	544,000	△ 544,000	
関西支部大会懇親会	305,000	315,000	△ 10,000	
九州支部大会懇親会	320,000	544,000	△ 224,000	
対外証明制作費	130,000	40,000	90,000	
出版情報収集・提供	(7,850,000)	(7,980,000)	(△ 130,000)	
資料収集管理費	10,000	30,000	△ 20,000	
A P A ニュース・瞬	4,300,000	4,350,000	△ 50,000	
A P A アワード記念講演	400,000	400,000	0	
会員名簿	1,670,000	1,750,000	△ 80,000	
協会概要制作費	200,000	50,000	150,000	
ホームページ運営	1,220,000	1,400,000	△ 80,000	
A P A ポータルサイト構築費	50,000	0	50,000	
会 館 建 設 準 備	(0)	(100,000)	(△ 100,000)	
調 査 費	0	100,000	△ 100,000	
本部施設整備準備費	(3,000,000)	(0)	(△ 3,000,000)	
20周年記念事業	(11,300,000)	(13,813,000)	(△ 2,513,000)	
記念事業費用	11,300,000	13,813,000	△ 2,513,000	巡回展、写真集発行
事業部門統括経費	(17,145,000)	(18,240,000)	(△ 1,095,000)	
会 議 費	400,000	370,000	30,000	事業部門審議委員会費用
関係団体賛助費	800,000	800,000	0	都写美、著作権協会会費
給料手当	9,700,000	9,600,000	100,000	
法定福利費	1,100,000	1,000,000	100,000	
福利厚生費	75,000	75,000	0	
電 話 料	470,000	450,000	20,000	
水道光熱費	350,000	320,000	30,000	
賃 借 料	0	3,650,000	△ 3,650,000	
本部施設管理費	1,350,000	0	1,350,000	本部管理費他
リース料	550,000	0	550,000	
職員通勤手当	500,000	500,000	0	
通信運搬費	75,000	75,000	0	
消耗品費	350,000	350,000	0	
什器備品費	100,000	300,000	△ 200,000	
租税公課	725,000	500,000	225,000	消費税、本部固定資産税
退 職 金	600,000	250,000	350,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
管 理 費	[28,145,000]	[31,360,000]	[△ 3,215,000]	
給 料 手 当	(9,800,000)	(9,600,000)	(200,000)	
法 定 福 利 費	(1,100,000)	(1,000,000)	(100,000)	
福 利 厚 生 費	(75,000)	(75,000)	(0)	
会 議 費	(4,250,000)	(4,970,000)	(△ 720,000)	
総 会	1,400,000	1,900,000	△ 500,000	会場費、印刷費、送料他
理 事 会	1,000,000	800,000	200,000	
幹 部 会	1,500,000	1,900,000	△ 400,000	
管 理 部 門 審 議 委 員 会	350,000	370,000	△ 20,000	管理部門審議委員会費用
旅 費 交 通 費	(1,400,000)	(1,000,000)	(400,000)	
職 員 通 勤 費	500,000	500,000	0	
業 務 出 張 費	900,000	500,000	400,000	
通 信 運 搬 費	(915,000)	(845,000)	(70,000)	
銀 行 手 数 料	220,000	220,000	0	
郵 送 料	150,000	150,000	0	
電 話 料	470,000	400,000	70,000	
運 搬 費	75,000	75,000	0	
消 耗 什 器 備 品 費	(100,000)	(50,000)	(50,000)	
消 耗 品 費	(350,000)	(350,000)	(0)	
事 務 機 器 修 理 費	(50,000)	(50,000)	(0)	
印 刷 製 本 費	(500,000)	(450,000)	(50,000)	
水 道 光 熱 費	(480,000)	(430,000)	(50,000)	
本 部	380,000	330,000	50,000	
関 西	100,000	100,000	0	
賃 借 料	(0)	(4,390,000)	(△ 4,390,000)	
家 賃 本 部	0	3,650,000	△ 3,650,000	
関 西 ビル 管 理 費	0	240,000	△ 240,000	
リ ー ス 料	0	500,000	△ 500,000	
施 設 設 備 管 理 費	(1,590,000)	(0)	(1,590,000)	
本 部 施 設 管 理 費	1,350,000	0	1,350,000	本部管理費他
関 西 ビル 施 設 管 理 費	240,000	0	240,000	関西ルーム管理費他
リ ー ス 料	(550,000)	(0)	(550,000)	
保 険 料	(80,000)	(30,000)	(50,000)	
租 税 公 課	(425,000)	(150,000)	(275,000)	本部、関西ルーム固定資産税他
慶 弔 費	(200,000)	(200,000)	(0)	
総 務 費	(2,500,000)	(3,100,000)	(△ 600,000)	
総 務 部 総 務 費	1,350,000	1,900,000	△ 550,000	顧問弁護士費、総務ニュース発行費他
入 会 事 務 費	150,000	50,000	100,000	各支部入会説明会
会 員 証 発 行 費	650,000	800,000	△ 150,000	
支 部 ・ 会 友 管 理 費	350,000	350,000	0	
支 部 事 務 費	(1,420,000)	(1,620,000)	(△ 200,000)	
支 部 事 務 部 寄 託 料	120,000	120,000	0	@3万×4支部
北 海 道	108,000	155,000	△ 47,000	
東 北	139,000	155,000	△ 16,000	
東 京	203,000	295,000	△ 92,000	
中 部	229,000	255,000	△ 26,000	
関 西	405,000	400,000	5,000	
九 州	216,000	240,000	△ 24,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
役員委員選出	(0)	(450,000)	(△ 450,000)	
交 際 費	(100,000)	(100,000)	(0)	
徴収不能額	(600,000)	(600,000)	(0)	
経 理 監 査 費	(1,310,000)	(1,650,000)	(△ 340,000)	
会計監査費	1,100,000	1,350,000	△ 250,000	
業務監査費	210,000	300,000	△ 90,000	
雑 費	(350,000)	(250,000)	(100,000)	会計・給与ソフトサポート料含む
事業活動支出計	92,323,200	101,056,000	△ 8,732,800	
事業活動収支差額	△12,104,000	△18,121,000	6,017,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
敷金・保証金戻り収入	[0]	[2,451,876]	[△ 2,451,876]	
敷金戻り収入	(0)	(2,451,876)	(△ 2,451,876)	
特定預金取崩収入	[17,000,000]	[176,563,038]	[△159,563,038]	
退職給付引当資産取崩収入	(600,000)	(250,000)	(350,000)	
準備金取崩収入	(16,400,000)	(176,313,038)	(△159,913,038)	
会館建設準備預金取崩収入	0	162,813,038	△162,813,038	
次期記念事業巡回展準備預金取崩収入	0	11,000,000	△11,000,000	名称変更/次期記念事業準備預金へ
次期記念事業準備預金取崩収入	10,900,000	0	10,900,000	名称変更
APA 公募展準備預金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0	
学校写真教育推進事業準備預金取崩収入	1,500,000	1,500,000	0	
本部施設整備準備預金取崩収入	3,000,000	0	3,000,000	
投資活動収入計	17,000,000	179,014,914	△162,014,914	
2. 投資活動支出				
固定資産購入支出	[200,000]	[163,013,038]	[△162,813,038]	
会館購入支出	(0)	(162,813,038)	(△162,813,038)	
会館購入支出	0	162,813,038	△162,813,038	
什器備品購入支出	(200,000)	(200,000)	(0)	
特 定 預 金 支 出	[2,610,000]	[2,110,000]	[500,000]	
退職給付引当預金支出	(10,000)	(10,000)	(0)	
準備金支出	(2,600,000)	(2,100,000)	(500,000)	
次期記念事業巡回展準備預金支出	0	100,000	△ 100,000	名称変更/次期記念事業準備預金へ
次期記念事業準備預金支出	100,000	0	100,000	名称変更
APA 公募展準備預金支出	1,000,000	1,000,000	0	
会館修繕積立準備預金支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	
本部大規模修繕準備預金支出	1,000,000	0	1,000,000	5年後の大規模修繕用
APAポータルサイト構築準備預金支出	500,000	0	500,000	
投資活動支出計	2,810,000	165,123,038	△162,313,038	
投資活動収支差額	14,190,000	13,891,876	298,124	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	[1,000,000]	[1,400,000]	[△ 400,000]	
当期収支差額	1,086,000	△ 5,629,124	6,715,124	
前期繰越収支差額	8,506,703	9,552,637	△ 1,045,934	
次期繰越収支差額	9,592,703	3,923,513	5,669,190	

(註) 借入金限度額は10,000,000円とする(短期)。